

令和6年度 指定管理者施設管理評価シート			部課名	福祉部高齢福祉課	
施設名称	4	東京都台東区立老人福祉センター	指定管理者	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	
選定方法	☐ 公募 ☐ 継続特例 ☒ 非公募		指定期間	R3.4.1	R8.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 地域の高齢者が、健康で明るく生きがいのある生活を送ることができるよう活動の場を提供する。
(2)	[所在地] 東京都台東区東上野2-25-14 [規模] 床面積（㎡）延2,130.80の内1,311.48 RC造5階建（1,2階、一部・3,4,5階部分）浴室、機能訓練室、茶華道室、教養室、談話室、囲碁将棋室など
(3)	[委託事業] ことぶき教室（カラオケや麻雀等の教室）、敬老の集い（ことぶき教室受講生の発表会）、健康づくり事業（口腔機能向上教室等）、個人・団体への教養室等の開放、防災訓練 等 [自主事業] 各種サロン（事前申込不要で気軽に参加できる活動の場。活動内容：①健康体操、脳トレ、口腔ケア等の健康づくり②囲碁や麻雀等の趣味の活動）、地域・世代間交流事業 等
(4)	[利用者] 区内に住所を有する60歳以上の者及び60歳以上の者で組織する団体 [利用料金制] ☐ 有 ☒ 無
(5)	[開館日・時間] 月曜日から土曜日 9時から21時まで
(6)	[人員体制] 10名 （内 訳）常勤：5名、準職員：3名、アルバイト：2名 内、常勤1名、準職員1名、アルバイト2名が「かがやき長寿ひろば入谷事業」に従事 （前年増減）1名増（常勤事務1増、準職員2減、アルバイト2増）

2. 予算決算		R4予算	R4決算	R5予算	R5決算
収入	委託料（指定管理料）	51,257,000	51,257,000	52,257,000	52,257,000
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入（受託事業収入）	17,944,000	17,913,000	17,681,000	17,689,160
	計	69,201,000	69,170,000	69,938,000	69,946,160
支出	人件費	45,283,000	40,616,217	44,724,000	36,597,390
	光熱水費	2,838,000	4,161,412	3,628,000	3,932,372
	維持管理費（委託料・賃借料）	7,427,000	6,781,523	7,325,000	6,907,752
	修繕費	250,000	675,873	150,000	172,700
	事業費	0	0	0	0
	その他支出（拠点区分間繰入金支出等）	13,403,000	11,215,503	14,111,000	16,346,114
	計	69,201,000	63,450,528	69,938,000	63,956,328
収支			5,719,472		5,989,832

3. 活動指標	単位	（目標値）R7年度	R3年度	R4年度	R5年度
健康づくり（介護予防）事業実施回数	回	72	43	72	70
ことぶき教室実施回数	回	180	53	180	180

4. 成果指標	単位	（目標値）R7年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者数	人	12,500	3,622	10,292	12,424
健康づくり（介護予防）事業、ことぶき教室参加者数	人	2,400	732	2,331	2,435

5. 前回評価及び第三者評価の結果に対する、現在までの取り組み状況
前回評価の際に適切な予算計画作成が課題とされたため、光熱水費や修繕費の予算見直しを図ったところ、二つの費目に関しては大幅に予算超過することはなかった。しかし5年度も全体的には予算額と決算額の乖離が大きいことから、更なる予算精査が必要である。

6. 評価の観点		
(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った		
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。	
20 / 20 点	各種法令の遵守、計画書等の提出は適切になされている。また、随時区との連絡調整を行っており、事業運営の在り方、個別事業の実施方法の見直し等について、十分に協議しながら適切な施設運営に努めた。	
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。	
19 / 20 点	臨時休館もなく、新型コロナ防止対策を実施しながら予定どおりの事業運営を行った。	
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。	
20 / 20 点	建物・設備の維持管理については必要に応じて専門業者に委託の上、適切に実施されている。また、利用者が高齢者であることを踏まえ衛生面に配慮し、施設内及び備品の消毒や定期的な換気なども実施している。	
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。	
20 / 20 点	新型コロナの5類移行を受け、各種教室・サロン事業の定員制限を緩和し、より多くの方に参加してもらえるよう努めている。また、アンケート調査の結果を踏まえ、随時講座の内容等の見直しを行っている。	
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。	
16 / 20 点	光熱水費については昨今の燃料費高騰の影響により決算額が予算額を超過したが、全体の収支は当初予算の範囲内に収まっており、令和5年度は黒字収支となった。	
(6) 優れた取組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果	
一 点		
7. 総合評価		
極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)		
良好 (95 / 110点)	【所見】 新型コロナ防止対策を踏まえながらサロン及び教室の参加定員数の制限緩和を行い、利用者数の増加を図った。また、台東区芸術文化財団との共同事業も引き続き実施するなど、サービス向上への取り組みが見られた。	【各項目20点に届かなかった主要要因・課題】 急激な物価や人件費上昇の影響を予測することは難しいが、必要なサービス水準を維持するためには、経済動向を踏まえた適切な収支計画の作成と執行が求められる。